

提出日： 2026 年 6 月 22 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
商学部	教授	平野 健

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。
	1. 2025年4月 1日 ～ 2026年3月31日
	2. 2025年9月 1日 ～ 2026年8月31日
	3. 2025年4月 1日 ～ 2025年9月20日
	4. 2025年9月21日 ～ 2026年3月31日
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。
	毎日、自宅で研究をしていたのみ。 それ以外の研究活動(学会発表、海外活動など)はありません。
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。
	①提出した「研究促進期間制度 研究計画書」には、想定していた著書が6章から成り、研究促進期間の前半はそれらの見直し・調整・ブラッシュアップをし、後半には出版社を探しをしたいと書いたが、さらにもう1つの章(労働価値論の検討)を追加することになり、その作業に秋までかけて結論を得た。その後、②の作業が入ったため、原稿化はできていない。 ②知人たちと企画していた共編共著の出版が想定していたスケジュールよりも前倒しになり、冬から春休みにかけてその原稿執筆に取り組んでいた。原稿は2章6万字で 2026 年6月末に完成・提出の予定。
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。
	①知人たちとの共編共著の原稿を6月末までに完成し、秋の出版にこぎつける。 ②追加したもう1つの章(労働価値論の検討)を原稿化し、7つの章の見直し・調整・ブラッシュアップをし、その後、出版社を探しをしたい。 ③以上の作業が終了したら、アメリカ経済の次のテーマの研究に入る。 ・インフレの実証的研究(2020 年代と 1970 年代)。 ・バブル経済の実証的研究(1990 年代～2010 年代)。 ・戦後景気循環の実証的研究(1950 年代～1980 年代)。